

# 第47回

主催：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 敦賀総合研究開発センター  
共催：国立大学法人福井大学 産学官連携本部協力会 原子力技術部会

# オープンセミナー

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構では、研究開発を通して創出した新技術を地域企業の皆様方に活用して頂くことや、原子力分野へ幅広く参入して頂くために、機構の技術などを紹介する取組みを行っています。なお、今回のセミナーは国立大学法人福井大学との共催で開催します。

## 日時・会場

敦賀会場

令和元年 11月27日(水)

14:00～16:00

アクアトム3階 プレゼンホール

(〒914-0063 敦賀市神楽町2丁目2-4 TEL: 0770-47-6821)

福井会場

令和元年 11月28日(木)

14:00～16:00

福井商工会議所ビル2階 会議室D

(〒918-8580 福井市西木田2丁目8-1 TEL: 0776-36-8111)

## セミナー内容

### 摩擦攪拌現象を利用した接合・改質・成形技術

福井大学 学術研究院工学系部門機械工学講座 助教 三浦 拓也

摩擦攪拌接合 (FSW: Friction Stir Welding) とは、回転工具と被加工材の間の摩擦熱を利用する、主に金属材料を対象とした固相接合法であり、高品質継手・高エネルギー効率・作業環境の清浄性など、優れた特徴を有しています。本セミナーでは、FSW 及び FSW の原理を応用した局所改質や金型レス成形技術を紹介します。

### 福島県浜通り地域における放射性物質“見える化”システムの開発と実証

原子力機構 福島研究開発部門 福島研究開発拠点 廃炉国際共同研究センター  
遠隔技術ディビジョン 3D イメージング技術開発グループ 副主任研究員 佐藤 優樹

福島第一原子力発電所 (1F) の廃止措置や福島県帰還困難区域の環境回復を促進するにあたり、事故によって飛散・沈着した放射性物質の分布を把握することは、作業員の皆様の被ばく線量の低減や除染計画の立案のために重要です。原子力機構 (JAEA) では、作業現場に沈着している放射性物質を“見える化”するための放射性物質可視化装置の開発を進めており、併せて 1F や帰還困難区域での実証試験を進めています。本セミナーでは、装置の詳細および実証試験の様子、地域企業との連携についてご紹介します。

お問合せ：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 高速炉・新型炉研究開発部門  
敦賀総合研究開発センター レーザー・革新技术共同研究所 成果普及促進グループ

TEL 0770-21-5033 FAX 0770-25-5782 URL <https://soudan.jaea.go.jp/>